



久 留 米 大 学

御 井 図 書 館 ニ ュ ー ス

No.88 2015 年 6 月 1 日 発 行

史料が帯びている情報の偏り

附属図書館長 江 藤 彰 彦

史料にもとづいて江戸期の日本の社会や経済の姿を描く、それを仕事としてきた。日本では史料を専門に扱う文書館の設置やアーキビストの育成が遅れているため、史料整理も私の仕事の重要な一部をなす。たとえば、個人のお宅から史料が出てくれば、江戸期に限定せず、出てきた史料全体を一つの史料群として整理し、目録を作る。「原状態の尊重」が整理の基本原則だが、史料の山を前にして具体的な整理方針を考え込むことも少なくない。

そうした場合、江戸期の史料については、形や大きさが整理の手掛りとなる。江戸文芸研究の達人中野三敏先生は、「江戸時代の書物には身分があり、その形態が内容を示す」と仰っておられるが、江戸期の史料もまた然り。紙を縦半分に折った縦長の形態は公式な情報の伝達や記録に、紙を横半分に折った横長の形態は非公式あるいは私的な情報の伝達や記録におおむね用いられ、同じ形態であれば大きい方が「身分」は上だった。江戸期に文字をあやつった人々は、このような「身分」構造を熟知していたし、また、していなければならなかった。

そのことが、現存する史料が伝える情報に一つの偏りをもたらしている。簡単に言えば、縦長の史料が重要視され、横長の史料はしばしば廃棄・再利用に回された。その結果、当時の人々が公式で重要だと考えた情報ほどには、日常の非公式・私的な情報を知る手掛りに私たちは恵まれていないのである。

また、日記など、日常の非公式・私的な情報を伝える史料の情報も、別の偏りを帯びている。記憶に由来する偏りである。現代ヨーロッパ政治史の研究者ガートン・アッシュ(Timothy Garton Ash) は 1970 年代末に東・西ベルリンに留学、東ベルリンでは秘密警察の監視対象となり、監視者や密告者からの情報がファイルにとじ込まれた。東・西ドイツ統一後、ファイルは監視対象者に開示され、彼もそれを見にゆく。そして、自分の記憶・日記と、ファイルに記された情報との食い違いの大きさに愕然とするのである。その経験を踏まえて、彼は記憶を次のように定義する。「私たちは単純に忘れてしまうのではない。覚え直しているのだ。記憶は書き直しができる CD-RW のようなもので、常に書き直されている。しかもその書き直しは、話の筋道が私たちにとってきちんと立つような、そして、より心地よいものになるような方向で行なわれる」と。

史料の情報は、様々な偏りを帯びている。歴史像を描く作業は、ピースがかなり欠けたジグソーパズルの組み立て作業（先に決まっている絵柄の復元）では決してないのである。

本 と 私

法学部法律学科 2 年 奥村 栞理

私は幼いころから本が大好きな子どもで、時間があれば常に本を読んでいた。私にとって「本」とは常に身近に感じるものであり、そして様々なことを教えてくれたものでもあります。今回私は小説を読むこと、そして専門書を読むこと、この二つについて述べたいと思います。

私にとって小説を読むということは、私とは違う世界を見ることができるということです。現実の世界では体験できないようなことも、小説ならば気軽に体験することができます。また、小説の登場人物の考えに触れることで気づくこともあります。そして、今までの考え方を考えるきっかけにもなります。私とまた違ったとらえ方をする登場人物達をみていると、物事のとらえ方も広がり、多面的にみる力を身に付けることができます。

次に、専門書を読んで得たことを述べていきます。まだ本格的に読み始めて一年ほどですが、専門書を読む中で、新しい知識や深い知識を得ることができました。しかし、同時に私の知識の無さ、浅慮さも痛感しました。よって私にとって未熟な部分が何なのか、ということを知る上で大変役に立つものになりました。これらを読んでいく中で、私が成長したことは、世の中の一つ一つの事柄に深く興味を持つようになったことです。一目見るだけでは、「さほど深くない」、「関連がない」と感じていた事柄が、知識を得ることで実はとても深く、そして関連性があることに気付きました。もちろん、著者の個人的意見が反映されているので完全に鵜呑みにするわけにはいきません。しかし、それが文章という形になると著者の考えが理解しやすくなり、自身の考え、意見を持ちやすくなります。今後も専門書を読み、自らの考えの礎にできたらと考えています。

以上二つのことについて述べましたが、小説は自身の内面、様々な考え方を取り入れる下地を作り、専門書は自分の考えや意見を持つことにとても役立つものだと思います。これからも自身が成長していくために読書を続けていきたいと思います。



平成 27 年度 御井図書館運営委員紹介

御井図書館長	江藤 彰彦 教授（経済学部）	
文学部	狩野 啓子 教授	中西 吉則 教授
法学部	上村 一則 教授	佐々木 拓雄 准教授
経済学部	山下 純一 教授	畠中 昌教 教授
商学部	異島 須賀子 教授	金田 堅太郎 准教授
大学院比較文化研究科	北村 修二 教授	
大学院心理学研究科	津田 彰 教授	
法科大学院	松本 博 教授	
大学院ビジネス研究科	異島 須賀子 教授（商学部図書委員長兼務）	
健康・スポーツ科学センター	原 賢二 講師	
外国語教育研究所	島村 恭輔 教授	

※附属図書館長 江藤彰彦教授は御井図書館長を兼ねる。

選書ツアー参加学生募集

御井図書館に置いて欲しい本を、選んでみませんか？

日時：平成 27 年 7 月 11 日（土）14：00～16：00（予定）

場所：紀伊國屋書店久留米店〔ゆめタウン久留米 2F〕

対象：文学部・法学部・経済学部・商学部の学部生

定員：各学部 先着 10 名

選書額：1 人 50,000 円

申込方法：平成 27 年 7 月 9（木）までにメールにて申し込み

送信先アドレス：mii-lib@kurume-u.ac.jp

件名：『選書ツアー申し込み』

本文に ①学籍番号、②氏名、③携帯電話番号、④メールアドレスを明記して送信

特典：参加者には 1000 円分の QUO カードを進呈



寄贈図書（学内関係者）

受入期間：2014 年 12 月 1 日～2015 年 3 月 31 日

寄贈者名	書名	著者名	出版者
阿部 三樹夫	Russia & Eurasia facts & figures annual v. 21	edited by Theodore W. Karasik	Academic International Press
阿部 三樹夫	The making of foreign policy in Russia and the new states of Eurasia : hbk(The International politics of Eurasia:v. 4)	editors, Adeed Dawisha and Karen Dawisha	M.E. Sharpe
吉田 洋一	久留米大学御井図書館所蔵古文書目録 その1(久留米大学文学部紀要)	久留米大學古文書調査会編	久留米大学文学部
吉田 洋一	演習行政法	原田大樹著	東京大学出版会
吉田 洋一	公共制度設計の基礎理論(行政法研究双書:30)	原田大樹著	弘文堂
吉田 洋一	例解行政法	原田大樹著	東京大学出版会
清木場 東	北宋の都市と町	清木場東著	中国書店
石川 捷治	日韓歴史共同研究報告書 第1分科会篇(第2期)	日韓歴史共同研究委員会編集	日韓歴史共同研究委員会
石川 捷治	日韓歴史共同研究報告書 第2分科会篇(第2期)	日韓歴史共同研究委員会編集	日韓歴史共同研究委員会
石川 捷治	日韓歴史共同研究報告書 第3分科会篇(第2期)	日韓歴史共同研究委員会編集	日韓歴史共同研究委員会
石川 捷治	日韓歴史共同研究報告書 教科書小グループ篇(第2期)	日韓歴史共同研究委員会編集	日韓歴史共同研究委員会
石川 捷治	兄のランドセル：いのちの政治家山本孝史物語	山本ゆき著	[出版者不明]/朝日新聞出版(発売)
石川 捷治	いのち愛(かな)しき：朝倉原爆被害者の会証言集 増補版	徳永節夫編著	朝倉原水爆禁止協議会
石川 捷治	The light of that summer : a collection of testimonies by members of the Asakura Atomic Bomb Victims' association	editor Setsuo Tokunaga	The Asakura Atomic Bomb hydrogen bomb prohibition conference

寄贈者名	書名	著者名	出版者
石川 捷治	The light of that summer : a collection of testimonies by members of the Asakura Atomic Bomb Victims' association	editor Setsuo Tokunaga	The Asakura Atomic Bomb hydrogen bomb prohibition conference
保坂 恵美子	日本語文法 1 巻 1 号	日本語文法学会 編集	日本語文法学会/くろしお出版 (発売)

※寄贈者名：敬称略。本学教員著書は、図書館 1 階 寄贈図書コーナーに排架。



読売新聞記事データベース『ヨミダス歴史館』の 同時アクセス数が、期間限定で 100 になりました

ヨミダス歴史館とは？

1874 年（明治 7 年）の創刊号から最新号（前日付）までの読売新聞記事
1,200 万本が検索・閲覧できます。※御井キャンパス限定

期間：平成 27 年 5 月 8 日（金）～平成 27 年 8 月 7 日（金）

8 月 8 日（土）以降は同時アクセス数が 1 に戻りますので、この機会に授業等で
是非ご活用ください。

利用ガイドなど詳しくは、御井図書館ホームページの“データベース一覧”に掲載



図書館利用状況（2014年度）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数		30	25	30	31	30	29	30	29	26	26	27	30	343
入館者数	対前年同月比	947	-1,358	416	3,046	1,051	564	-1,072	1,289	1,277	594	-173	639	7,220
	学内者	15,293	13,525	15,044	24,041	6,842	7,453	14,475	14,705	13,191	17,690	3,640	3,667	149,566
	対前年同月比	-566	-703	-287	-325	-78	-185	-341	-120	-236	-31	37	-189	-3,024
	その他学外者	1,075	1,631	1,793	1,509	996	1,056	1,432	1,231	1,130	744	802	799	14,198
地域住民登録者数	対前年同月比	-4	-4	13	-1	2	-7	9	-4	-14	9	2	2	3
	地域住民	41	21	35	31	23	14	33	11	12	19	13	18	271
貸出冊数（学生）	対前年同月比	164	-77	462	322	-92	16	-146	185	48	-236	-79	54	621
	全体	2,285	2,612	2,918	3,156	1,068	1,516	2,955	3,053	2,656	2,186	498	408	25,311
	対前年同月比	45	68	208	34	-97	43	12	216	45	-103	-17	10	464
	内、夜間	480	671	748	738	111	314	700	916	618	556	50	32	5,934
	対前年同月比	16	25	97	21	48	-13	-22	70	0	-25	-53	12	176
	内、土・日曜	126	147	274	199	203	150	188	286	236	242	77	66	2,194
	一人当たりの貸出数	0.41	0.47	0.53	0.57	0.19	0.27	0.53	0.55	0.48	0.39	0.09	0.07	4.57
貸出冊数（教職員）	対前年同月比	28	36	-25	10	-47	-18	24	-36	-114	-49	-76	110	-157
	全体	636	339	311	350	229	329	372	271	214	265	174	380	3,870
	対前年同月比	-6	27	-9	-5	-14	16	-42	-27	-25	-7	-6	0	-98
	内、夜間	42	92	81	75	12	75	92	63	42	80	7	22	683
	対前年同月比	-10	12	3	12	-3	15	9	0	-34	-8	-33	34	-3
貸出冊数（その他学外者）	内、土・日曜	34	22	29	25	32	42	19	23	17	33	18	47	341
	対前年同月比	31	16	-3	-40	-13	8	23	95	-12	-12	-107	-60	-74
	全体	302	298	313	143	170	270	260	318	217	66	152	246	2,755
	対前年同月比	28	-27	-16	-13	-8	31	-7	46	27	6	-20	-19	28
	内、夜間	120	103	113	62	27	87	71	122	73	26	16	27	847
AVライブラリー利用件数	対前年同月比	6	58	41	-3	0	56	13	13	-32	13	-48	-58	59
	内、土・日曜	102	117	149	55	86	164	91	101	75	51	55	104	1,150
	対前年同月比	0	6	12	1	13	8	-27	-9	0	-2	-1	-1	0
	学生	0	9	13	7	23	10	7	7	5	3	5	0	89
	対前年同月比	9	9	20	24	-2	-3	34	-9	-4	-9	-32	-1	36
相互利用（文献複写）申込件数	教職員	21	26	47	36	6	11	48	39	24	6	0	10	274
	対前年同月比	3	5	0	2	1	-1	0	-2	0	0	0	-2	6
	その他学外者	3	5	0	2	1	0	0	3	0	0	0	0	14
	対前年同月比	60	-18	-3	42	18	-10	-13	-52	-125	-48	-9	-8	-166
	学 生	77	37	68	74	38	25	33	28	16	9	5	12	422
相互利用（現物貸借）申込件数	対前年同月比	5	18	-22	9	-7	0	-30	3	-11	-2	-27	15	-49
	教職員	44	48	22	40	19	22	25	34	8	14	26	26	328
	対前年同月比	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他学外者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	対前年同月比	0	-2	-2	10	-6	1	0	-2	9	2	0	-1	9
相互利用（現物貸借）申込件数	学 生	0	2	3	11	0	1	2	3	9	4	0	0	35
	対前年同月比	12	12	-2	13	8	-9	7	-5	-16	-1	-4	9	24
	教職員	15	23	15	18	14	7	12	12	2	9	9	13	149
	対前年同月比	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他学外者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

＜貸出冊数についての注記＞

1. 教職員の貸出には、専任教員の研究室貸出分を含まない。
2. “夜間”とは、平日の17:00～21:00の夜間開館時間を指す。
*なお、4月1日～4月9日、8月11日～9月19日、12月24日～12月26日、2月2日～3月31日の期間は夜間開館を行っていない。
3. 地域住民への貸出は、7月16日～8月8日、の期間は停止している。
4. 学生一人当たりの貸出数は、平成26年5月1日現在の御井キャンパスの学生数 5543 人で算出。（留学生別科、聴講生は除く）

編集・発行 久留米大学御井図書館

〒839-8502 久留米市御井町1635

TEL : 0942-44-4015 FAX:0942-43-0348

<http://www.std.mii.kurume-u.ac.jp/miilib/>